

令和6年度第1回定時評議員会議事録

公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団

- 1 日 時 令和6年6月27日（木曜日）
午後2時00分から午後3時10分まで
- 2 場 所 東京体育館第一会議室
- 3 評議員現在数 12名
- 4 定 足 数 7名（過半数の出席をもって成立）
- 5 出 席 者 11名（評議員）
植田昌利、小林健二、四宮淳司、白戸太朗、武井正子、丹治充、
富田幸博、とや英津子、野川春夫、蓮沼千秋、星大輔
- 6 その他出席者（理事長）塩見清仁、（常務理事）越秀幸
（理事） 延與桂、梶原洋子、中川冷子、平野裕一、
（監事） 飯塚幸子、中山正雄
- 7 議 題
（審議事項）
第1号議案 令和5年度事業報告及び決算について
第2号議案 任期満了に伴う次期理事の選任について
第3号議案 任期満了に伴う次期監事の選任について
（報告事項）
（1）理事候補者選任方針について
（2）評議員選定委員会の結果について
- 8 議事に至るまでの経過
定刻になり、評議員会を開会した。議長選出までの間、河野和久事務局長が進行

役を務めた。冒頭、当評議員会は定款第19条第1項並びに評議員会会議規程第8条に定める定足数を満たし、有効に成立する旨を報告した。

続いて定款第18条の規定により議長の互選を求めたところ、「富田幸博評議員を議長に」との推薦があり、出席した全評議員から「異議なし」の声があったため、富田評議員が議長に就任し、議長席に移動し議事を開始した。

議長から、植田昌利評議員と四宮淳司評議員を議事録署名人に指名したい旨を提案し、出席した全評議員の同意を得、提案どおり選任された。

9 議事の経過及び結果

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算について

(1) 議案説明

議長が本議案について事務局に説明を指示し、これを受け河野事務局長が、配付した「令和5年度事業報告書及び決算書（案）」をもとに説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

(質問)

デフリンピック大会準備における寄附・協賛の募集について、現在の実績はどのくらいか。また、募集は誰がどのように実施したか。

(回答)

令和5年度における指定口座への寄附は2件あり、50万円を計上している。直近では5月24日からクラウドファンディングによる寄附を開始しており、84件、合計約250万円の寄附をいただいている。また、寄附・協賛の募集にあたっては、東京都・ろうあ連盟と協議のうえ、事業団が主体となり業務を担っている。

(質問)

都からの補助金・負担金の位置づけについて、人件費の人数も含めて教えていただきたい。

(回答)

決算書のデフリンピック事業会計 経常収益に補助金と負担金が記載されている。都からの補助金の主な支出内容は、福利厚生費として都派遣職員（管理職）20名分の共済費等事業主負担分の経費である。それ以外の経常費用は都からの負担金による支出となっている。

(質問)

個人利用者数に関して、コロナ前の数値には戻っていないとのことだが、目標管理として具体的な数値目標は定めていたのか。

(回答)

コロナ禍前までの水準に戻したいと考えているが、業界の変化などもあり、戻っていないのが現状。しかし、日々増えてはいるので、知恵を出して更に増やしていきたい。

(意見)

スポーツ振興事業の定員に対しても参加者数が少ない事業がある。事業内容の見直しなども行っていった方が良いのではないか。

(回答)

赤字が続いた期間には、自主事業を絞り込むなどの見直しも行ってきた。今後も、ご指摘の点を踏まえ、不断の見直しを行っていきたい。

(質問)

40代の女性の運動実施率が下がってきていると言われている。更年期に差し掛かる世代の運動実施は重要であり、そうした取組をお考えいただきたい。また、それに関するデータなどがあれば教えていただきたい。

(回答)

この場では、具体的なデータは持ち合わせていないが、ご指摘の点は認識している。一方、例えば、障害者や高齢者のための事業という名目になると、一般の方から、参加したかったという声が出ることもあるため、そうしたご意見にも配慮しながら、誰もが参加しやすく、また、目的にかなう事業を実施してまいりたい。

(3) 質疑終了後、議長が本議案について諮ったところ、「異議なし」の声があり、第1号議案は、出席した全評議員の一致をもって原案どおり可決された。

第2号議案 任期満了に伴う次期理事の選任について

(1) 議案説明

議長が本議案について事務局に説明を指示し、これを受け河野事務局長が、配付した「役員等名簿」及び「理事候補者名簿」をもとに説明を行った。

(2) 質疑

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

(3) 議決

質疑終了後、議長が理事候補者一人ずつ名前を読み上げ決議を行ったところ、全員について「異議なし」の声があり、第2号議案は、出席した全評議員の一致をもって原案どおり可決された。

第3号議案 任期満了に伴う次期監事の選任について

(1) 議案説明

議長が本議案について事務局に説明を指示し、これを受け河野事務局長が、配付した「役員等名簿」及び「監事候補者名簿」をもとに説明を行った。

(2) 質疑

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

(3) 議決

質疑終了後、議長が理事候補者一人ずつ名前を読み上げ決議を行ったところ、全員について「異議なし」の声があり、第3号議案は、出席した全評議員の一致をもって原案どおり可決された。

10 報告事項

報告事項(1)理事候補者選任方針について及び(2)評議員選定委員会の結果について、河野事務局長から、配布した資料をもとに報告を行った。説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

11 その他

その他について意見、質問を求めたところ、以下の発言があった。

(意見)

コロナ禍後の個人利用については、利用者の意識やスポーツのやり方などが変化してきている。現場に触れている指定管理者として、最適な施設提供について新たに考えるタイミングにきているのではないかと感じているので、参考にしていきたい。

以上をもって評議員会の議事を全て終了したので、議長は終了を宣言し、午後3時10分、散会した。